化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版E

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿＿

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 12.9 g と結びつく酸素は何 g か。

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 9.6 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 2.7 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 8.8 g と結びつく酸素は何 g か。

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 6.4 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 16.5 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 14 g と結びつく酸素は何 g か。

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 23.2 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.3 g と結びつく酸素は何 g か。

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 13.8 g と結びつく酸素は何 g か。

化学変化と質量の比 できる質量・結びつく酸素（10問）　版Eの答え

※ 酸化物の質量＝金属＋酸素。銅なら 4：1：5、マグネシウムなら 3：2：5 の比を先に書いてから計算します。

(1) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 12.9 g と結びつく酸素は何 g か。
= 8.6 g

(2) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 9.6 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
= 16 g

(3) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 2.7 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
= 4.5 g

(4) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 8.8 g と結びつく酸素は何 g か。
= 2.2 g

(5) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 6.4 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
= 8 g

(6) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 16.5 g を完全に酸化させると、
酸化マグネシウムは何 g できるか。
= 27.5 g

(7) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 14 g と結びつく酸素は何 g か。
= 3.5 g

(8) 銅と、銅と結びつく酸素の質量の比を 銅：酸素＝4：1 とする。
銅 23.2 g を完全に酸化させると、
酸化銅は何 g できるか。
= 29 g

(9) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 6.3 g と結びつく酸素は何 g か。
= 4.2 g

(10) マグネシウムと、マグネシウムと結びつく酸素の質量の比を マグネシウム：酸素＝3：2 とする。
マグネシウム 13.8 g と結びつく酸素は何 g か。
= 9.2 g